

Hello, from
Around the World

ALT通信

白河で活躍するALT（外国語指導助手）を紹介！



ガーキー・マイケル・リー先生
(アメリカウイスコンシン州)

本庁舎学校教育課 内2365

ラーメン大好き！

皆さんこんにちは。私は昨年7月に、アメリカ合衆国の中西部、五大湖地域にあるウイスコンシン州から来ました。この州は祖先にドイツ系移民が多いことからチーズやソーセージ、ビールなどが有名です。そして白河の冬も寒いですが、私の故郷ではマイナス20℃にもなるので冬の寒さは平気です。

趣味は芸術鑑賞と絵を描くことで、休日には風景画などを描いています。白河は緑が多く、故郷と似た雰囲気なのがお気に入りです。日本独自の文化やお祭りも興味があり、昨年は提灯祭りに参加してお神輿も担ぎました。

また、日本のラーメンが大好き

で、家族と週末などよく食べに行きます。おすすめのお店があったらぜひ教えてください。

皆さんどうぞよろしくお願ひします。(次回に続く)



▲趣味で描いた水彩画（金勝寺橋）

英語で一言！

Always look on the bright side.

(いつも明るい面を見て前向きにいこう)

《高久家の養子へ》
天保14年(1843)、文晁門弟の高久靄屋が跡継ぎなく急死し、周囲のすすめで高

久隆古(1810~1858)の三
方領知替えにより阿部家が白
河藩主となります。高久隆古
は、この阿部家家老の川勝家
に生まれました。
10代の頃から好んで絵を描
いていましたが、素行が悪く
家を勘当されます。放浪のの
ち江戸に出て、谷文晁の門人
である依田竹谷に入門しまし
た。20代で京に上り、復古大
和絵派(古典的な大和絵の再
興を目指す)の絵師・浮田一
蕙に師事しました。江戸に戻
った後は評判が高まり、のち
に実家の勘当も解かれました。

江戸の著名人の紹介本。隆古は「画の
さまは人のしりたる筆のあやされは其
名は江戸に高久」と評され、絵師とし
て高い評判を得ています。
高久隆古
西國薬研堀
江門外
文晁門弟
高久隆古
天保14年(1843)急死



【現存雷門江門外
人寿命附】
年(1850)版

シリーズで学ぶ
白河歴史人物伝
幕末日本を歩いた白河ゆかりの絵師
Vol.11

高久隆古

(1810~1858)

《旅と交友》

久家の養子となりました。しかし、隆古自身は必ずしもこの縁組を望んではいなかったようです。

隆古は、京都の他、名古屋や関東、白河などを旅し、様々な人物と交流しています。例えば文晁門弟の渡辺華山に私淑し、また坂下門外の変に関わった尊皇家・大橋訥庵と交流しています。こうした交友の中で、南画、大和絵、華山風の花鳥人物画などの幅広い画風を深めたのです。

晩年には佐原(千葉県香取市)を訪れ、半年滞在しています。しかし佐原から江戸への帰途、病気で急死し、江戸谷中の天龍院に葬られました。実家・川勝家の墓は白河市の妙閑寺にあります。



伊勢物語・西行物語図屏風(白河市歴史民俗資料館蔵)

文化財課 ☎ 23310